

令和7年度 第3回 静岡市立清水桜が丘高等学校学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年10月28日(火) 午後2時から4時まで
- 2 開催場所 静岡市立清水桜が丘高等学校 第2会議室
- 3 出席委員 遠藤委員、堀谷委員、志村委員、村山委員、佐野委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 鈴木校長、江間副校長、松場教頭、古賀事務長
- 6 傍聴者 0人
- 7 内容

(1) 学校運営の報告

- ア 学校運営の報告について 校長
- イ 部活動(活動実績・部活動の統廃合)について 副校長
- ウ いじめ等の対応について 教頭

(2) 意見交換

- A委員 課題研究(商業)の授業は、卒業後役立つ学びである。
外部組織との連携が上手くいっている。
SNSの危険性について、どのように生徒へ働きかけているか。
(回答)「情報」、「情報処理」等の授業で生徒に対して説明を行っている。また、警察等に生徒向けの講話を依頼している。
施設設備、教育内容等は、私立高校に負けない公立高校だと思う。
- B委員 地域の防災訓練への参加や地域の老人介護で高校生の力を借りたい。
(回答)地域の防災訓練への参加については、生徒が地域の求められている存在であることを踏まえ、防災訓練の参加を呼び掛けている。老人介護については、家庭科の授業で地域の老人会へ手紙を送ったり、パソコン部がスマートフォンの使い方を老人会で説明したりしている。
- C委員 タブレットや教え合いなど授業の在り方が変化していることを実感した。
サイバーセキュリティ対策について、企業では重要度が高くなっているので、知識を身に付けてほしい。
外部組織との連携は、生徒にとって教員以外の話を聞く良い機会である。
多くの新聞記事が掲載されている。学校としての発信力があると思う。
先進的な教育を進める一方で、人とのふれあいを大切にしてもらいたい。
- D委員 黒板を使わない授業が行われていたが、生徒や教員にとってもプラスであると思う。
学校運営は時代の先読みをして行われている。
- E委員 サイバーセキュリティ対策について、今後さらに重要度が増す。
金融教育について、どのような指導を行っているか。
(回答)「家庭」の授業で取り扱っている。具体的には金融機関に講師を依頼して講演をしてもらっている。
地域の一員として、高校生には地域の防災訓練等に積極的に参加してもらいたい。
授業については、私立高校と遜色がないと思う。さらに授業が向上する方法として、協働的な学びの後に個人の学びを行うサイクルがあると良い。
学校運営は「スピーディー」、「多角的」、「連携」に進められている。
学校改革は、教職員の意識をまとめることも必要であるが、どのようにまとめたか。
(回答)会議等で教職員にパワーポイントのスライドを使って、方向性やビジョンを説明していった。また、ミドルリーダーが主体的に行動できる体制づくりを行った。